



早瀬 隆士 議員



松山外港に初寄港の大型クルーズ船

子どもたちの使用する教科書の採択方法は

問 本町は、砥部町、伊予市と共同研究・協議の上、昨年、令和二年度から令和五年度までの小学校教科書が採択された。

① 採択までの手順は
② 選定委員の構成は
③ 採択までの議論の公表は

答 本馬教育長
① 小中学校の教科書採択は、4年に1回又は学習指導要領が変わるときに行われる。本町の教科書

は、法律等に基づき、砥部町と同一教科書を採択するため、松前・砥部地区教科用図書採択協議会を設置。協議会では、調査研究結果及び展示会での意見を基に、優先順位を付け複数決定する。

なお調査研究は、多角的な観点で行うことが必要なため、松前・砥部地区と伊予地区の2つの採択地区共同で行う。最終的な採択は、それぞれの教

育委員会が行う。もし採択された教科書が本町と砥部町で異なった場合、両教育委員会で同一の教科書になるまで協議を行う。

② 採択協議会構成員は、規約に基づき、それぞれの教育長、教育委員代表、校長代表、保護者代表、教育委員会担当課長及び学校教育に専門的知識を有する学識経験者1名の計11名。

③ 採択結果は、本町ホームページで公表しているが、採択までの議論内容は公表していない。

なお、協議会の議事録などは情報公開請求に基づき公開している。

意見 教科書は子どもたちや教員、保護者にとっても身近なもの。多くの方々の意見がよりよく反映されるような工夫と、採択結果等の周知・公表など、採択をより開かれたものにしていくことを望む。

地域活性化に向けて松前町の観光政策は

問 官民連携の観光政策について、今後取り組む予定や意気込みは。また、インバウンド観光の対策、取組みについて問う。

答 平村産業課長
本町は、文化財、親水公園や麦畑などの観光資源を有しているが、知名度は高くない。町では、エミフ

ル来店者を含め多くの方に魅力を知っていただくため、イメージソングやプロモーションビデオ作製などの事業を行ってきた。

一方、町民主導で、「観光ボランティアグループはんぎり」、「まさきいいとこ見つけ隊」が結成され、精力的に活動中。これらと連携し、交流人口増加を図り

たい。インバウンド観光は、外国人視点で作製のプロモーションビデオを国内外に発信中。

意見 本年、ダイヤモンド・プリンセス号が4回寄港予定。また、その2倍近い規模の大型客船が、10月21日松山来港ツアーを設定中。来年以降もこれらが定期的に、しかもほとんどが平日に訪れるといつことは、宿泊施設のない本町においても大きなチャンスととらえて、誘客活動に官民連携し、力を入れて取り組んでいただきたい。

今後は、県や関係機関と連携・情報共有を図り、松山に寄港するクルーズ船の旅行者が町内周遊していただけるよう、誘客に取り組んでいきたい。